

たが

2016年2月(第148号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



みんながんばったよ! ~生活発表会~(大滝幼稚園)

- ・ 補正予算を審議 2
- ・ 12月定例議会 4
- ・ 町長の行政報告 5
- ・ 特 集 6
- ・ 委員会審議 8
- ・ 町政を問う(一般質問) 11
- ・ たが いいところ再発見!! 18

一般会計 補正予算 4,239万円を審議

予算特別委員会

12/9

27年度補正予算を審議・可決しました。

おもな内訳 (万円)

スマートインター整備計画委託	648
マイナンバー運用整備	97
コミュニティバス運行対策	396
森林境界明確化事前調査	33
ダム関連事業	420
ふれあいの郷設備修繕	70
ささゆり保育園駐車場整備	480
土曜講座講師委託	14
中学校光熱水費	180
小学校体育館修理	30
防犯カメラ設置(放課後児童クラブ)	50
小学校ピアノ購入	136
粗大ゴミ収集委託	167
環境保全型農業交付金	46
あけぼのパーク電気料金	500

問 計画の内容は
答 進入路、周辺道路などスマートインター自体の整備計画である。今は可能性調査の段階である。投資効果、整備効果なども含め、国の正式決定が得られるよう実施計画書の作成を委託する。

問 駐車場整備の内容は
答 ささゆり保育園の増築改修工事に合わせて、不足している駐車場の整備する。個人の所有地(面積は565㎡)を購入する。

問 ピアノ購入の経緯は
答 多賀町出身で県外にお住まいの方から多賀小へ寄付があり、ランドピアノを購入する。新しいピアノを小学校の音楽教育に役立てたい。

問 森林境界明確化の進捗は
答 森林境界の事業は3年目となる。これまで榑崎と栗栖で実施している。合計60haで、進捗率は、全森林面積の1%である。今回は県のモデル事業として行い、これを足掛かりに事業を進めたい。

問 マイナンバー運用整備の内容は
答 マイナンバー制度が1月から本格的にスタートするため、制度の運用に必要なネットワーク機器を購入する。外部との接続を可能にするサーバーとその設定費用である。



町道 二本木西ノ脇線



誘導灯

問 ダム関連事業の内容は
答 主に防災機器の修繕で、誘導灯、放送用アンブ、ガス漏れ警報設備、火災通報装置などを修繕する。



土曜講座(サタスタ)の様子

問 あけぼのパークの電気料金の内訳は
答 中学生を対象に、あけぼのパークで開催。56人の参加となり、講師1人を追加する。昨年6月からの値上げ分と、8月から高温対策として、冷房の範囲を広げ、来場者への快適さを確保したことによる。昨年8月から今年3月までの電気料金を見込んでいます。



ささゆり保育園 (駐車場整備) 480万円



小学校ピアノ (購入) 136万円



多賀スマートインター (整備計画) 648万円



粗大ゴミ収集 (委託) 167万円



コミュニティバス (運行対策) 396万円



絵馬通り改良工事

- ・請負者 (株)雅コーポレーション
- ・金額 5151万円
- ・工事内容 ブロック舗装、側溝、消雪設備など
- ・工期 28年3月31日

絵馬通りの改良工事

臨時議会

10/22

請負契約2件を締結しました



ささきゆり保育園増改築中

- ・請負者 岐建(株)
- ・金額 1億3608万円
- ・工事内容 乳児室2室、幼児室1室の増築など
- ・工期 28年3月31日

ささきゆり保育園の増築・改修工事



中央公民館コンペのプレゼン



中央公民館コンペ会場(10/20)

2次審査が公開されました

新中央公民館建設の基本設計が決まりました

10/22

選定理由

- ・コスト抑制へ配慮
- ・地元企業の参加

- ・あらゆる世代へ配慮
- ・多賀産材の利用
- ・農村景観への配慮

新中央公民館イメージ図



最優秀作品
百田 麻貴氏
(東京都)

最優秀作品と選定理由は

空き缶の回収にご協力いただき、ありがとうございました。



空き缶モニュメント完成式(10/17)

巨大モニュメントが完成しました
キリンビールの空き缶約6万個で、「たがゆいちゃん」の巨大モニュメントを製作しました。

巨大モニュメントが完成しました

町制60周年の記念行事

町長の行政報告

12/3

記念式典を開催しました

11月8日、三日月知事出席のもと、記念式典を盛大に開催しました。
・中学生による司会進行
・町内園児による合唱
・増田寛也氏の講演など、多賀町らしい式典となりました。



町制60周年記念式典(11/8)



住みやすいまちをめざして

12月定例議会

12/3

12/17

補正予算を可決しました

区分	(万円)	おもな内訳
一般会計の補正予算	4,239	スマートインター整備計画など
国民健康保険	7,376	療養費、高額療養費の増加
介護保険事業	27	包括支援センター運営費
芹谷栗栖地域振興事業	1,506	墓地駐車場、周辺道路整備
下水道事業	152	印刷製本費(6町クラウド)
水道事業	35	道路復旧減額、人件費増額

税条例が改正されました

税の分割納入の方法が規定されました

分割納入
分割納入の手続き
徴収猶予の申請が可能
換価
競売により金額を決定

公務災害補償の条例が改正されました

年金制度が一元化による条例の改正

- ・共済年金と厚生年金が27年10月で一体化
- ・非常勤職員への補償
- ・消防団員への補償

マイナンバー制度関連の条例が制定されました

自治体の独自利用が可能になります

・福祉、医療、災害救助などに利用できる。
・国の事業だけでなく自治体の事業(社会保障、防災)に個人番号を利用するため。

請負契約を
変更しました

急傾斜対策工事
(尼子地先)

請負者
法面プロテクト(株)
金額の変更
8273万円
(2570万円増)
変更の理由
・年度内の工事完了をめざすため。

固定資産評価審査委員に再任されました

竹内 幸雄氏
(尼子)
坂上 定男氏
(富之尾)

総合計画が
議会の議決事項に

重要な計画に対して議会の議決を経ることで、執行権との均衡を図ります。

請願2件を
審査しました

国に対し、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書(継続審査)
「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)」の制定を求める請願書(総務委員会審査)
8ページ

現地を
追跡

芹谷は

ダム中止から

いま

6年が経過



今の上水谷地区



昔の航空写真



今の下水谷地区

周辺整備

～写真で追う地域振興～



上水谷



下水谷



河内下村



甲頭倉



早期の完成を!!

～主要地方道 多賀醒ヶ井線～



河内安原



河内宮前



甲頭倉



河内中村



栗栖



屏風



水谷口



むらづくり

～住みやすさを求めて～



上水谷公民館



下水谷公民館



芹谷消防センター



水谷加圧所

芹谷ダム建設事業とは

芹谷ダムは、昭和38年度に県が建設の予備調査を開始した。平成4年度に事業採択し、地元住民も同意したが、嘉田知事就任後の平成21年1月にダム事業再評価が実施され、「治水安全度を確保」する観点から、建設中止が決まった。

議会として、特別委員会を設置し、地域振興や住民の生活補償を求める意見書を可決し、生活再建計画に支援を求めた。さらに、家屋の改修費だけでなく精神的な補償も視野に入れ、「住民の方たちが納得できるような対応を」求め訴えてきた。



県道整備の様子

安全・安心のまちづくり

産業建設常任委員会

12/8



墓地駐車場の予定地

補正予算1件を
審査しました

特別会計

芹谷栗栖地域
振興事業

1506万円増

問 予算の内訳は。
答 水谷の集落墓地に駐車場を整備する。周辺道路もあわせて整備する。

その他振興事業の
進捗は

問 ほか整備の進捗は。
答 上水谷の2カ所で行い、営農組合の立ち上げも検討されている。
問 現在工事中の事業は。
答 現道拡幅と河川整備

中山投棄場と紫雲苑の現地調査



中山投棄場の視察

閉会中の調査

10/27

中山投棄場に
中継基地を設置

問 扱うゴミの種類は。
答 不燃ゴミのうち、再資源化できないもの。

問 処理方法は。
答 埋立てをやめ、コンテナに投入しておく。最終処分業者（県外）に引き渡すための中継を行う。

問 再資源化の選別、中間処理を経て、最終処分（埋立て）される。

問 工事の内容は。
答 搬入車が安全にゴミの投入できるように、プラットフォームを建設する。
問 コンテナ置き場6台分を整備する。
答 3月末に工事完了予定である。



火葬炉の説明

紫雲苑（斎場）の
改修工事

問 工事の内容は。
答 火葬炉の工事は完了している。

問 今後は待合室、ロビー、駐車場を整備する。
問 待合室の規模は。
答 2家族、40人が利用できる大きさにする。

マイナンバー制度を 条例に

総務常任委員会

12/7



条例2件、予算1件、請願1件を審査しました

税条例の改正

分割納入などの
猶予制度を条例化

問 これまでも納税が困難な方に、分割での納付を提案してきた。
答 資産や預金の調査も続け、収納率の向上に努める。

問 資産の換価は。
答 差し押さえた財産などを金額に変えること。

マイナンバー制度
関係の条例制定

個人番号を、税、福祉、医療、防災などの事務に利用する

問 情報の連携先は。
答 教育委員会と町長部局である。災害関係では、独自利用に限る。

27年度の補正予算

国民健康保険事業
7976万円増

問 高額療養費の個人負担額は。
答 所得に応じて5段階ある。25万円、16万円、8万円、5万円、3万円

請願を審査
治安維持法犠牲者
国家賠償法の制定を求める請願書

不採択

理由
・治安維持法犠牲者だけに特化した謝罪と賠償は認めがたい。
・実態の調査と公表の真意が理解できない。

住民の健康増進を



ヘルシーお弁当バイキング

閉会中の調査

10/29

福祉保健課所管の事業と、請願1件を審査しました

健康増進計画の
内容と進捗は

問 計画の内容は。
答 健康が21に基づいた計画で、30年度までの10年計画である。

問 進捗状況は。
答 計画の中間見直し、住民アンケートの実施、数値目標を検証した。

住民の健康状態の
数値は

問 平均寿命は。
答 男性が80歳、女性が86歳である。

問 特定検診の受診率は54%である。
答 保健指導率は25%。

問 がんの早期発見を強化する対策は。
答 28年度から、内視鏡検査が入る。

問 ピロリ菌検査の助成も検討している。
答 元氣アップ教室の利用者は、24人である。

問 元氣アップ教室の利用者は。
答 24人である。

請願の継続審査
所得税法56条の廃止を
国に求める請願書

不採択

理由
・零細事業者が廃業しないような制度が必要で、廃止によって解決するとは思えない。

質問事項	ページ
川添 武史 12 農林業の活性化を 駅前再開発は チャレンジショップの導入は 空き家対策の条例化は	12
大橋 富造 12 ドローン(マルチヘリコプター)の活用を グラウンドゴルフ連盟に町長杯を	12
富永 勉 13 閉園した保育園の利活用は 町道小森池線の外灯は	13
山口 久男 13 地方創生の内容は 保育料は 介護保険は	13
田畑 喜久弘 14 メガソーラーの規制は	14
菅森 照雄 14 障がい児放課後児童クラブの来年度の 取り組みは	14
川岸 真喜 15 ベッドタウン型のまちづくりを 地方債の返済計画は	15
原田 亀雄 15 総合戦略の進捗状況は 第5次総合計画(後期5年計画)の策定は	15
深田 治夫 16 道路網の整備は	16
竹内 薫 16 自治会館の利活用は 公共事業の入札方法は	16
土田 一善 17 県道大堀多賀線の拡幅は 多賀中学校建設の歴史は 芹川沿岸の環境整備は	17

(印は、掲載しておりません。)

12月定例議会

11人が一般質問 町政を問う

議会改革特別委員会

12/9

議員の定数と報酬について議論

議員定数は妥当か

定数削減が最善ではない。選挙での無投票当選が続くと問題。改選前に結論を出すべきではない。新体制で結論を出す。

報酬は妥当か

定数を減らし、議員報酬を見直すべき。委員長手当を見直すべき。他の市町と比べても現在の報酬は妥当。議会・議員活動を見直して、報酬を検討すべきでは。

委員会のありかた

予算委員会など、予算項目に関係のない質問もできる時間を設けるべき。

委員会も、住民の傍聴を可能にすべきだ。



協議・検討中

行政との関わり

予算書、決算書を早い時期に受け取り、質問活動に反映させるべき。議会運営委員会の開催時期を早め、余裕のある日程にする。総合計画の決定に関わりをもつべき。

議員研修

10/28

11/25

議員研修に参加しました

議員の権限と義務

全国町村議会議長会の小林猛氏の講演。



滋賀県議会議長会議員研修(10/28)



彦愛犬議会議長会議員研修(11/25)

地方自治と議会

多治見市長(元)の西寺雅也氏の講演

議会の役割

行政機関の監視
政策の立案
改定
評価

今後の検討課題

- 議会での議論を読めば、その地域の課題が網羅されているようにすべき。
- 口利きになっていないか。
- 住民・行政vs議会という図式になっていないか。
- 総合計画への関与



気軽に懇談しませんか？

議会改革特別委員会では、議会の活性化について継続的に検討しています。議会活動の充実を図るため、各集落や各種団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局 ☎ 48-8126
(有線) 2-2011



質問1

閉園した保育園の利活用は

—町長—

地域密着型介護施設に

富永 勉



清涼ファミリーステーション

問 新しい放課後児童クラブが多賀小に移った。清涼ファミリーステーションの利活用として、小規模多機能型住宅介護施設とし、施設改修を27年度中に行い、28年度には運用開始すると聞いたが具体化や再整備についてはどうか。

町長 現在、利活用について検討している。具体的な内容として、小規模多機能型住宅介護施設の開設を目指し、地域密着型サービスという種類で、町民の介護保険被保険者が優先して利用できる。27年度中に業者選定を行い、28年度中の開設を目指す。

問 町道小森池線の外灯は以前に質問した外灯設置に対する答弁は、今後、状況判断をし、地元と協議のうえ、進めていくということであった。その協議はどこまで進んでいるのか。

町長 以前に質問した外灯設置に対する答弁は、今後、状況判断をし、地元と協議のうえ、進めていくということであった。その協議はどこまで進んでいるのか。

総務課長 大滝方面の幹線町道であるという位置づけも含め、町としての主体性を持って、今年度中に富之尾大橋の信号から約200mの歩道側に、今年度事業で設置できるように、具体的な協議を地元と進めたい。

質問2

町道小森池線の外灯は

質問1

農林業の活性化を

—町長—

ブランド化に向け取り組む

川添 武史



農林業の活性化を

問 農業は、耕作放棄地が増え、一方「多賀そば」、「多賀ニンジン」などの販路拡大に取り組んでいる。多賀大社との連携で「オンラインワン・ブランド」の立ち上げができればいいか。また、林業は新たに「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が施行され、早急な計画が必要と考えるがどうか。

町長 ブランド化による付加価値を高めるための取り組みとして、多賀のうまい米上位3点を国際コンクールに出品した。結果は出なかったが、その鑑定結果を参考にしたい。ただきたい。

問 琵琶湖保全再生計画は計画の策定に当り県に必要な事業や取り組みについて要望していきたい。

町長 給馬通り整備を、今年度から5年程度かけて行い、今後、駅周辺の大型駐車場の整備も含め、事業の推進に努めたい。

質問3 チャレンジエンゲージメントの導入は

町長 商工会と連携しながら空き店舗等で操業しやすい体制に努め、給馬通りの活性化を図りたい。

質問4 空き家対策の条例化は

町長 空き家対策特別措置法をもとに進めていく予定で、条例化の必要はないと判断している。

質問2

駅前再開発は

質問1

ドローンの活用を

—町長—

導入は考えていない

大橋 富造



ドローンで撮影

問 現在ドローンは、気象調査・不法投棄・犯罪・航空写真・災害現場など色々な視点で行政も利用している。

町長 今後、ドローン利用の考えと、県内自治体での利用実態は。

町長 機器の安定性や機能操作性など改善の余地がまだまだある。所有に関する届け出や、免許制、講習の受講やさらなる法規制による安全対策等も考えられ、現時点で導入は考えていない。

県土木関係に1機。防災危機管理局に1機。湖南市が災害時の状況調査用、遭難者の捜索、広報の活用で2機導入。

問 町民をはじめ町外からの利用も増え、町連盟加入者数も130人近くに増えた。他町では町長・教育長などが大会に華を添えている。連盟杯以外に春秋いずれかに町長杯を設けては。

町長 5月には93人の参加による関ヶ原町との交流大会、6月には73人参加による犬上予選、10月には連盟による大会など多くの利用をいただいている。町長杯については、連盟の意見を伺い、前向きに検討したい。

質問2 グラウンドゴルフ連盟に町長杯を

質問1

地方創生の内容は

—企画課長—

地域活性化に向けた計画策定

山口 久男



問 町が策定する地方版総合戦略は、策定委員会は何回開催され、審議内容は、コンサル任せにせず町民の意見が十分反映される策定内容にすべき。先行交付金を活用し中

企画課長 有識者と公募による13人で構成する多賀町まち・ひと・しごと創生推進委員会が2回、推進本部会議を2回開催した。人を呼び込むための情報発信、行政と町民との協働によるまち・ひと・しごとの重要性などの意見がでた。

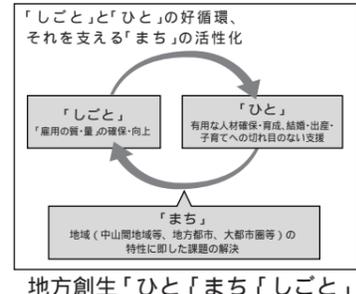
問 聞き取り調査や、町民と行政の協働施策を検討することで、より実効性のある計画に。

中山間地の活性化は急務と認識し、プロジェクトチームの検討を始めており、重要な施策と位置づけ検討している。

問 保育料の改定がされるが、保育料の高くなる世帯への対応は。

教育次長 該当は3世帯。公平公正な負担を実現するため理解願いたい。

問 現在のところは考えていないが、今後、少子化対策につながる有効な支援策を講じたい。



質問2

保育料について

質問1

メガソーラーの規制は適切な指導をする

—産業環境課長—

田畑 喜久弘



メガソーラー

問 近年、メガソーラーの建設が、町内でも目立ってきている。農地を転用したり、山林を切り開いて建設される場合がある。また、文化財包蔵地で建設される場合もある。国は、24年から再生可能エネルギーで発電した電力（太陽光、風力、地熱、バイオマスなど）を一定の価格で電力会社に買い取らせる制度がスタートした。何らかの規制が必要ではないか。

答 国は、再生可能エネルギーにより発電をおこなう者（特定供給者）に対し、設置認定を受けることを義務付けている。なんらかの違反が判明した場合は、認定が取り消される。

現在、全国的にメガソーラーの建設が広がっている。建設に必要な立地規制もあり、その手続きを適切に行っているか、必要な場合は指導していく。

産業環境課長

質問1

ベッドタウン型のまちづくりを若者定住の施策を進める

—企画課長—

川岸 真喜



ベッドタウン型のまちづくりを

問 30年後の2040年代には、多賀町の人口は5000人を下回るといわれている。人口の定住、増加の施策が急がれる。宅地開発によって、ベッドタウン型のまちづくりをすすめては。

答 町内ではここ数年、民間業者による宅地開発が進んでいる。都市計画の条例を制定したことの効果もある。

今後は、中心市街地だけでなく、大滝方面、芹谷方面での若者定住に向けた施策に力をいれていく。

企画課長

副町長

質問2

地方債の返済計画は

問 地方債の発行と残高が増加を続けている。残高の合計が114億円に達した。住民1人あたり150万円の借金を負うことになる。

答 ここ3年間の決算を見ても、返済が新規発行を上回ることがない。今後の返済計画は、来年度はどうか。

答 中央公民館の建設、絵馬通りの改修などがあり、30年までは地方債残高の増加は避けられない。その後は、残高を抑制し、適正な地方債の管理に努める。

来年度については、土木事業、消防事業の増加により、約4000万円の借入れ超過となる。

質問1

障がい児放課後児童クラブ 来年度の取り組みは協議を進める

—町長—

菅森 照雄



障がい児放課後クラブ みんななかよし

問 障がいをもつ子どもたちのための放課後児童クラブが昨年5月に開設された。

答 これまで送迎は保護者のみなさんをお願いしてきた。

子どもたちの活動の場、居場所として、今後開設日数、内容の面で充実が求められる。

懇談のなかで、負担軽減の要望があった。小学校の児童は、通学バスを利用していく。今後は保護者との意見交換に努めていく。

保護者や運営元との協議、懇談の結果、内容の充実を図られるのか。

運営元（杉の子会）の業務の関係や、指導員の配置など、開設日数の増加が可能かどうか次年度に向け協議を進める。

現在、週2日の開設である。開設日数の増加に努めると答弁もあったが、その検討結果は。

住自立圏や湖東医療圏などと連携を図る計画です。今回の総合戦略により、人口減少を緩やかにし、若返りを目指し、目標は8000人を確保したい。各戸に総合戦略の概要版を配布する。整合性を図りながら進めている。

質問1

総合戦略の進捗は1月をめぐりに公表

—企画課長—

原田 亀雄



問 「多賀町総合戦略」の進捗状況について。住民の意見をどの程度取りいれられたか。

内容は、町民がイメージできるものか。結果重視の政策要素がどのように盛り込まれているか。

企画課長

答 アンケート調査による、若者就労支援、空き家を活用した移住支援など、多くの意見を反映。各施策には数値目標を設け、達成状況を評価できる計画である。

国の総合戦略に盛り込まれた政策5原則の趣旨を踏まえ、効果的な施策を推進していく。多賀まるごとミュージアム構想の具現化や独自性のある教育プロジェクトの検討や具体的内容を明記する予定。町民と協働で実施する事業、大学をはじめ、定

質問2

「後期5年計画」策定は

問 前期5年の結果が、後期5年に反映されるか。前期に比べ、実施計画が具体化されているか。町民がイメージできるものか。

企画課長

答 各施策の成果を検証し、後期計画の策定に向け取り組んでいる。年度ごとに数字で示すよう指示している。官民一体となった協働の取り組みにより、愛着と誇りをもてる計画にする。

質問1

県道の拡幅を

—副町長—

県の単独事業として要望

土田 一善



県道大堀多賀線

質問2 多賀中学校の 建設の歴史は

副町長

〔答〕市、県と協議してきました。現在2車線への道路改良が難しい状況である。高校生の通学路でもある。歩行者や自転車の通行の安全性を確保するためにも、路肩を拡幅など、交通安全対策として県に要望した。

副町長

〔問〕県道大堀線の拡幅と歩道の設置について、要望するよう求めてきた。彦根市側の回答が十分でないことを理由に、要望できないのは適切でない。町としてできることは、

質問3 芹川沿岸の 環境整備を

副町長

〔問〕県は現在、芹川の下流（国道8号より北側）の整備を進めている。今後、中流での整備の計画は、

〔問〕現在の多賀中学校は、構想から竣工まで10年の歳月を要した。建設費の捻出、執行部の苦勞、議会での激しい議論などを伝えていくべきでは、

〔答〕現在、県の担当者として調整中である。現地確認のうえ、県に要望する。

質問1

道路網の整備を

—町長—

広域的な道路整備が必要

深田 治夫



道路網の整備を(敏満寺地先)

〔問〕現在、犬上川右岸の道路は整備されてない。町内から国道8号線の接続場所（千鳥橋）まで直線で行けず、不便である。この道路の必要性について問う。

町長

〔答〕この道路の整備は必要と考えている。町内の国道307号から、国道8号や湖周道路へのアクセスも便利になる。医療、教育、防災面からも非常に重要である。都市計画道路としても認定されている。技術的な課題もあるが、粘り強く関係機関と協議したい。

質問2

町道大谷線の 検討結果は

〔問〕以前から質問している町道の検討結果は、（斎場からエフバーカリーに通じる道路）

町長

〔答〕有効な路線の一つと認識しているが、代替路線が完了している。

質問3

危険な林道の 安全対策を

町長

〔問〕一ノ瀬から仏ヶ後に通じる林道上山線は、落石が多く危険である。落石防護柵などを設置するなど安全対策は、

産業環境課長

〔答〕この林道は生活道路でもあり、地元区と連携を密にし、維持管理に努めていきたい。

質問1

自治会館の利活用は

—福祉保健課長—

地域の支え合いが重要

竹内 薫



地域サロンの様子

〔問〕年々上がる高齢化率、避けて通れない高齢化。行政による支援も限界にきている。これからは地域が地域で、自らが自らのことを行えるように、行政がそのサポートをするシステムの構築が求められている。

〔問〕他市町では、入札不調の場合は総入れ替えして入札が行われる。ささゆり保育園の入札時には再入札の方法を取られた理由は、

質問2

公共事業の入札方法は

〔答〕「地域で子どもを育てる」意味も含む地域の自治会館を拠点としたコミュニケーションシステムづくりが急務である。

〔問〕以前には総入れ替えを行ったこともあるが、今回はメンバー構成の点で、総入れ替えができる状態ではなく、工事内容の変更にて再度入札した。

福祉保健課長

企画課長

〔答〕高齢化に伴い、独居老人も増加していることから、地域での見守り、声かけが必要になってくると思う。

〔問〕今後は、地域の公民館を拠点として、元気な高

テレビ中継

庁舎1階ロビーに設置の大型テレビに、本会議の様子を放映しています。お気軽にお立ち寄りください。

また、傍聴アンケートに、皆さんの声をお聞かせください。



アンケートに
答えてね



視聴・傍聴アンケート

平成26年6月の定例会から、視聴・傍聴された皆さまにアンケートのご協力をお願いしています。

あなたの声をお寄せください



いただいた意見を紹介します

住民の代表・代弁者として議員活動を活性化し、住みやすい町づくりに。
若い人たちにも町政に興味を持つように働きかけてほしい。
生活に密着した議員活動を。
傍聴者を増やす工夫を。
若者が安心して暮らせる働く場を。

傍聴者総数 ... 15人
回答者 ... 5人
回答率 ... 33%

たがいいところ再発見!!

第8回

あけんばら
安原と
やえねり
八重練

安原

藤本 輝男さん

◎ 集落のいいところは、

① 芹川の清流と緑に囲まれ、自然が豊かなところです。

今は多くの方が村を離れて暮らされていますが、何かあればすぐに集まり協力できることです。

◎ 伝統行事は?

① ≪行い≫

古くから伝わる無病息

災五穀豊穰を祈る年頭行事で毎年1月8日秘仏の薬師如来(平安時代)と十一面観音菩薩(鎌倉時代)が御開帳されます。

夜、百八つの煩惱を焼き払うため百八本のろうそくを灯します。この日は一同に会し、他所からも来られ、にぎわいます。

八重練

壽 莉紗さん

◎ シェアハウスとは、

① 近年、地方の集落で空き家が増えています。そこで、県立大学の「多賀木匠塾」が、町の支援や地元の方の協力を得て、八重練にある空き家を改修し、シェアハウスとして住んでいます。

学生など3人が入居し、地元の草刈りやお祭などの行事に参加しています。

◎ 「多賀木匠塾」とは、

① 今年で活動13年目をむかえ、毎年1つ多賀産木材を用いた遊具の製作をしています。

60人の学生が、9月1日から10日間のサマースクールの中で加工、組立、完成へと木製遊具を製作しました。

そのほか、多賀町の行事への参加や杉の子作業所さんとの交流などもしています。



行いの様子

伝統
継承



百八本のろうそく



八重練シェアハウス



ルームメイトの片山さん

議会を傍聴してみませんか? 2月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
2月8日	8日(月) 9:30~ 議案審議
2月24日 (17日間)	9日(火) 9:30~ 一般質問
	24日(水) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126
(有線) 2-2011

たがいいところ再発見!!

あなたの住んでおられる地域の自慢をお聞かせください。

【応募資格】多賀町にお住まいの人

【応募方法】200字程度

【募集期間】平成28年

4月8日(金)

◎ 地域の魅力を再発見できるコーナーをめざし、取材や写真撮影も伺います。
◎ 議会事務局までご連絡ください。

飯盛木と青竜山



編集後記

行政は、とても複雑で多岐にわたります。わかりやすくみなさんにお伝えできたか、反省もたくさんあります。少しでもみなさんと行政を結びこたができたなら、幸いです。人口減少や過疎化のな

かであっても、「ひと」と「ひと」のつながり、結びつきを大切にして、住みやすさナンバーワンをめざしていきたいものです。たがゆいちゃん「結い」を合言葉に、これからも、みなさんと行政を結んでいきます。

川岸 真喜 記